

河内長野駅周辺地区まちづくり方針（概要）

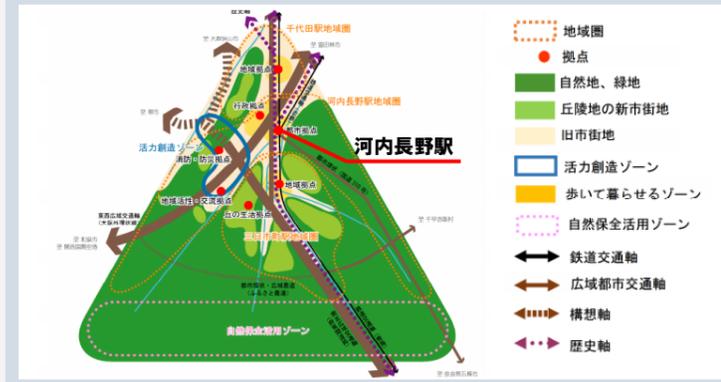
まちづくり方針とは

背景と目的

○「河内長野市第5次総合計画」及び「河内長野市都市計画マスタープラン」にて、河内長野駅周辺は行政サービスや生活利便施設などの都市機能を集積し、歩いて暮らせるまちづくりを進める「都市拠点」として位置付けられています。

○現状の河内長野駅周辺地区は、高度経済成長期のモータリゼーションによる市民生活の広域化などの影響を受け、空き店舗・空き地などが多くを占めるなど衰退した状況となっているほか、都市計画道路の未整備など、歩いて暮らせるまちづくりへの対応が十分でない状況です。

○河内長野駅周辺地区が、本市の「都市拠点」及び「顔」としてふさわしいまちづくりを進めるため、地域の方々や民間事業者、行政が共有できる将来像を定め、同じ方向で取り組むことにより、効果的なまちづくりを進めることを目的に、「河内長野駅周辺地区まちづくり方針」を策定しました。



現状と課題

暮らしの視点

- ①都市計画道路河内長野駅前線の未整備
⇒歩行者の安全対策
- ②空き家・空き店舗・空き地の増加
⇒建築物の更新による防犯・防災力の向上、人口回復
- ③生活利便施設の不足
⇒日常生活の利便性の向上

にぎわいの視点

- ①商業機能の低下
⇒市民が訪れたい商業機能の展開
- ②都市機能の空洞化
⇒都市機能の立地検討
- ③魅力的な核となる施設の立地
⇒新たな核となる施設の立地検討や、既存施設の連携促進

観光の視点

- ①歴史的まち並みや豊かな自然等の観光資源
⇒各資源のエリア一体での活用
- ②市内各地へのターミナル機能(市の玄関口)
⇒市内各地への更なるアクセス向上
- ③観光ニーズに対するミスマッチ
⇒観光客のニーズを捉えた戦略的な取り組み

まちの将来像・将来像の実現に向けて

将来像1

安心・安全に暮らせる利便性の高いまち

歩いて暮らせるまちとして、地域住民や市民が安心・安全に暮らせる利便性の高いまち

基本方針「誰もが安心して便利に暮らせる環境づくり」

取組み

- ①道路環境の改善
歩道の整備・拡幅、交差点改良等
- ②生活サポート機能の充実
生活利便施設の立地促進等
- ③防災・防犯力の向上
木造建築物等の不燃化促進等
- ④居住環境の整備促進
多様なニーズに対応した住宅供給促進



将来像2

都市機能が充実した活気のあるまち

市の都市拠点として、都市機能が充実した、市民が集い、にぎわいや活気が出るまち

基本方針「人々が集い、交わる拠点づくり」

取組み

- ①都市機能の集約
駅周辺への都市機能の立地検討
- ②飲食・ショッピングが楽しめる空間づくり
新規出店を促す仕組みづくり等
- ③誰もが気軽に使える空間・仕組みづくり
公共空間活用の仕組みづくり等
- ④既存施設との連携
各施設との連携促進



将来像3

市の玄関口にふさわしい、「河内長野らしさ」が感じられるまち

市の玄関口として、市外からの来訪者が市の魅力を感じることでできるまち

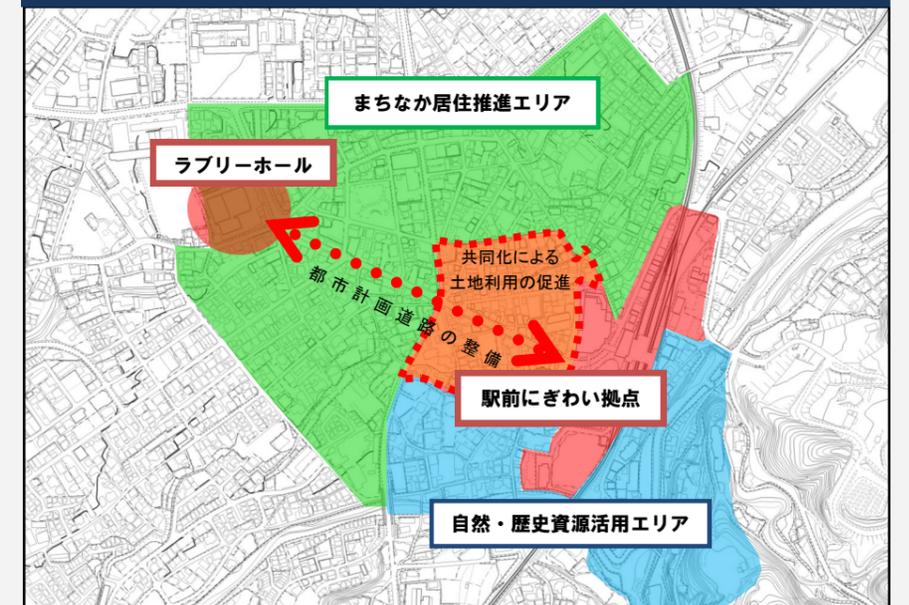
基本方針「河内長野の魅力を感じる玄関づくり」

取組み

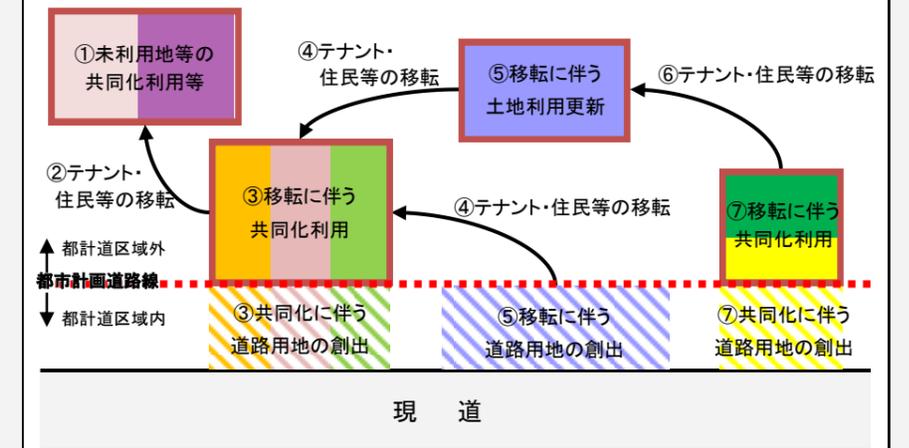
- ①市の魅力の情報発信
観光情報等の発信
- ②地域資源を活かしたデザイン
おおさか河内材の利用促進等
- ③来訪者への利便提供
案内機能の充実、おもてなしの取組み
- ④市内各所へのアクセス向上
交通環境の向上、バス利用促進
- ⑤自然・歴史資源の保全と活用
資源の一体的な活用による回遊性創出等



まちづくりのイメージ図



連鎖的な整備イメージ図



取組みスケジュール

	中期(～概ね5年)	長期(概ね5年～)
土地利用の促進	暫定的な有効利用(空き地の活用促進など) 建築物の共同化	
道路環境の改善	建築物の共同化による道路用地の創出 都市計画道路河内長野駅前線の整備	
その他	生活サポート機能の充実、飲食・ショッピングが楽しめる空間づくり 誰もが気軽に使える空間・仕組みづくり、都市機能の集約 既存施設との連携、市の魅力発信、地域資源を活かしたデザイン	